

人物 関係図

武田勢



武田勢の武将
穴山梅雪（信君）

今川勢



氏真の正室
糸



真矢ミキ
巴



関水渚
お田鶴



松平家の菩提寺の住職
登譽上人



有能な家臣たちの熱意に背中を押され、
三河国(現・愛知県東部)・岡崎城の主として
生きる運命を受け入れ、
戦国乱世の荒海に飛び込んだ若き家康——。
しかし、待っていたのは大ピンチの連続だった。
波乱万丈の戦国エンターテインメント!

大河ドラマ 「どうする家康」

主演・松本潤 作・古沢良太

音楽・稲本響

G 日曜午後8時

BSP BS4K 日曜午後6時

NHKプラスで配信します

19歳の年、「桶狭間の戦い」で
今川勢と織田勢が激突。元康は今
川勢の先陣を務めるが、当主・今
川義元を討ち取られ撤退。混乱の
中、故郷・岡崎へと帰還する。だ
がそれは元康にとって、つねに生
死を左右する苦難の始まりでもあ
った。信長や甲斐（現・山梨県）
の武田信玄など、戦国モンスター。
がかつばする乱世に飛び込んだ若
き家康には、後ろ盾も豊かな領土
もない。頼りは、個性派ぞろいの
家臣たちだけ。

きは戦国。三河の岡崎城
主・松平広忠の子として
生まれた竹千代（少年期
に元康と改名。のちの家康）。6
歳のとき、尾張（現・愛知県西部）
・織田家人質となり、若き信長
と劇的な出会いを果たす。その後、
駿府（現・静岡県東部）・今川家
に引き渡され、すでに他界してい
た父の家臣たちと再会。元康は、
彼らの中に主不在の松平家を再興
したいという思いがくすぶつてい
ることを知る。

「どうする家康!」
三河のか弱きプリンスだった家
康が、家臣に支えながら心身
ともに成長し、戦国大名の頂点に
立ち、ついには戦乱のない天下泰
平を実現させる、奇跡と希望の物
語——。愛知が生んだ三英傑のひ
とり、家康の物語が今始まる。

徳川家康役
松本潤 メッセージ

今作の家康公は、これまでの老練な“たぬきおやじ”的イメージではなく、とくに最初の頃は運命に翻弄される三河の“か弱き”プリンス。でも、厳しい乱世を優秀な家臣団を生かしながら生き抜き、最後には天下人に上り詰めます。厳しい乱世の物語ではありますが、くすっと笑えるシーンもたくさんあるので、ぜひ楽しんで見ていただければうれしいです。僕も、偉大な家康公をしっかり演じさせていただきます。

織田勢

岡田准一	織田信長 戦国のカリスマの父
北川景子	お市 信長の妹
吉原光夫	柴田勝家 織田勢の荒武者
藤岡弘	織田信秀 信長の父
立川談春	佐久間信盛 織田家の筆頭家老
松澤アリス	明智光秀 織田勢の切れ者
大森南朋	酒井忠次 家臣団のリーダー
細田佳央太	徳川信康 家康の嫡男
松本潤	酒井昌次 家康の正室

徳川勢
(家康の家族)

有村架純	瀬名 家康の正室
橋本さとし	山田昌景 武田家の筆頭重臣
松重豊	石川数正 古参家臣
小手伸也	山田孝之 忍者の取りまとめ役
音尾琢真	本多正信 家臣団の嫌われ者
波岡一喜	本多忠貞 静いところ武将
松本まりか	渡辺守綱 槍の名手

阿部寛	武田信玄 戦国最強のレジェンド
橋本さとし	山田昌景 武田家の筆頭重臣
野村萬斎	今川義元 駿河・遠江の戦国大名
溝端淳平	今川氏真 ブライドの高い御曹司
渡部篤郎	今川氏純 今川家の筆頭家老
豊嶋花	たね 瀬名の侍女
野間口徹	鶴巣長照 今川家の重臣

徳川家臣

山田裕貴	杉野遥亮 文武に優れた豪公子
板垣李光人	井伊直政 井伊家の御曹司
岡部大	イッセー尾形 家臣団の長老
猫背椿	平岩親吉 いつも美顔の正直者
登与	甲本雅裕 夏目広次
酒井忠次	水野信元 於大の兄
千葉哲也	本多忠貞 静いところ武将
大鼠	寺島進 水野信元
松本まりか	渡辺守綱 槍の名手
大鼠	木村昂 渡辺守綱

角田晃広	松平昌久 大草平家の当主
中村勘九郎	茶屋四郎次郎 家康を助ける京の商人

東海地方の領主ほか

松嶋菜々子 於大の方	寺島進 於大の兄	久松長家 家康の義父	角田晃広 松平昌久
大貫勇輔 浅井長政 北近江の戦国大名	市川右團次 空智上人 一向宗徒のカリスマ	古川琴音 千代 謎の歩き巫女	中村勘九郎 茶屋四郎次郎 家康を助ける京の商人